

新機能追加！！

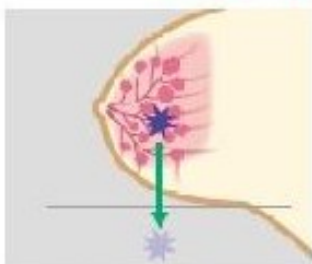
2024年8月1日導入！！

追加料金はかかりません、
これまでと同じ料金でより快適に

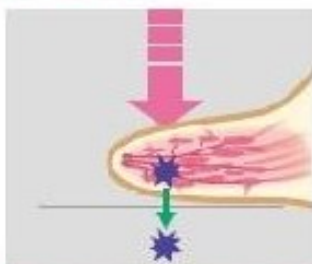


痛み軽減を目指して—受診者の負担軽減のために デジタルマンモグラフィシステム

どうして圧迫するの？



厚いままだとぼやけたり
写し出されないことがある



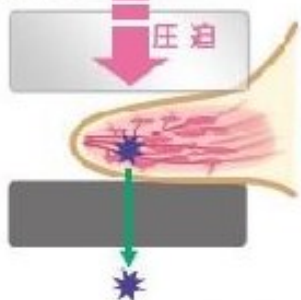
薄くすることではっきりとした画像を
少ないX線量で撮影できる

いろいろ
工夫がされて
いるのね。

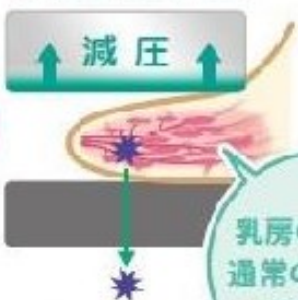
受診者の負担軽減の工夫とは？

圧迫後に少しだけ圧迫する力を弱める（減圧）
ことで、痛み軽減が期待できます。

[通常]



[痛みに対する工夫]



乳房の厚さは
通常の圧迫と
ほぼ同じ

マンモグラフィに2つの機能を新たに追加

「少しでも痛くないマンモグラフィ」併せて「乳腺の位置や量を最適に判断」

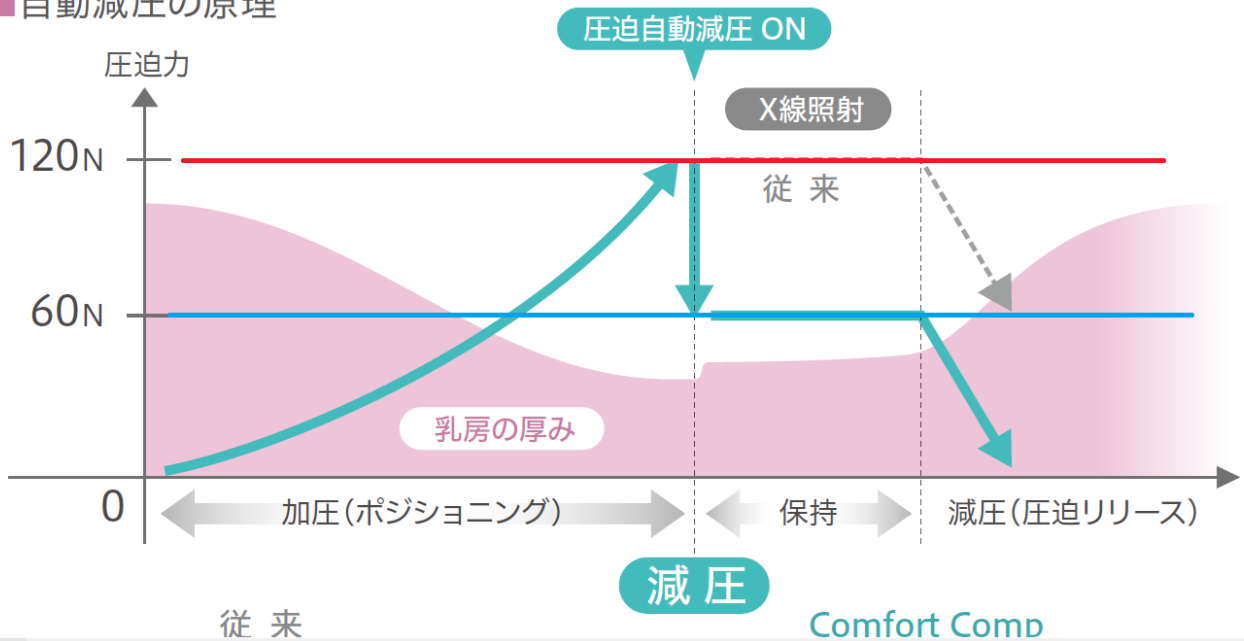
早期発見のために、乳がん検診を受けましょう

圧迫自動減圧制御（Comfort Comp）の導入

少しでも痛くないマンモグラフィーを目指して、導入いたします。

患者の痛みを軽減する目的で、通常の乳房圧迫完了後に、乳房の厚みが変化しない範囲（±3mm）で圧迫圧を減圧する機能です。ヒステリシス^{*}現象を利用し、通常の圧迫方法よりも、最大圧迫圧となっている時間を低減します。

■自動減圧の原理



従来のマンモグラフィーでは乳房の圧迫したら、そのままの状態での撮影となりましたが、今回導入した新機能ですと、乳房を挟むまでに要した力を120N（ニュートン^{*}）から60Nまで減圧させることができます。

1Nはおよそ100グラムですので6kgくらいの力で持ち上げたり押す力となります。

$60\text{N} \div 9.8\text{N} = 6.1\text{kg}$ 片方の乳房撮影時に 2Lのペットボトル3本くらいの力がかかっていたものを減圧して撮影することを可能といたしました。

^{*}ニュートン（英：newton、記号：N）は、国際単位系（SI）における力の単位。1kgの質量を持つ物体に1m/s²の加速度を生じさせる力で定義されています。重力単位系（MKS）の重量キログラム（kgf）との関係は、下のとおりです。1kgf=9.8Nまた、1000N=1kNとなります。

アドバイス

しかし、痛みの感じ方には個人差がありますし、乳腺の量が多くて密度が高い人は、乳腺が少なく乳房自体が柔らかい人よりも痛みを感じやすい傾向にあります。

また、同じ人でも乳腺が張っている時は、痛みを強く感じやすいため、月経前や月経中は、そうでない時に比べると痛みを強く感じて感じる傾向にあります。

したがって、この装置の導入によっては、マンモグラフィーの撮影時の痛みを完全になくすとはできませんが、できるだけ痛みを減らすことはできるようになったと考えております。

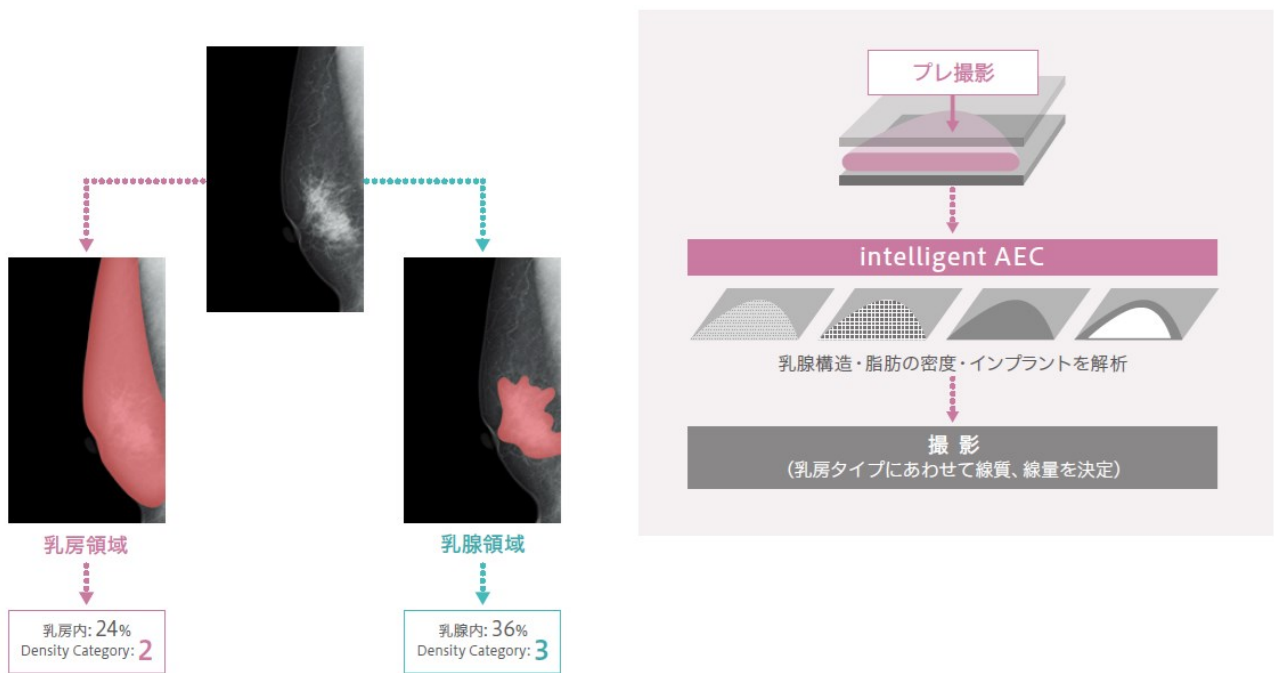
これからご受診の方にとって痛みの少なく、また精度は高いままグラフィー検査を目指してまいります。

検査のご予約をお取りになる際は、月経前1週間や月経中を避けて、月経後の7～10日ごろ（乳腺がやわらかくなる時期）に予約をお取りいただくことをお勧めいたします。

乳腺量測定機能 (Density Category)の導入

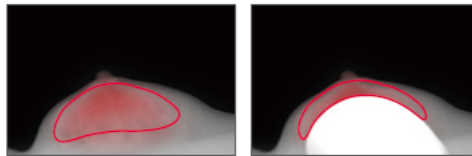
撮影前の事前照射で乳房中の乳腺の位置や量を判断して適正な放射線量と測定範囲を自動で決定して撮影ができます。(Intelligent AEC)

これにより、ご自身が高密度乳腺であるかどうか判り、乳腺超音波が必要かどうかの判断材料を提供いたします。



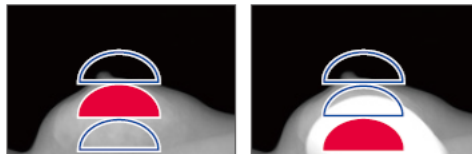
intelligent AEC

プレショットの画像より自動で適切な乳腺のエリアを選択



手動センサー方式

乳腺の位置をポジショニング時に想定して手動で変更



自動センサー方式

プレショットの画像より自動で適切なセンサーを選択

